

## 良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
☎ 042-795-7361 (FAX: 必要に応じて 186 を頭に加える)  
議会 042-724-2171  
yoshidaben@gmail.com



## 第3回定例議会の日程と会議

第3回定例会は、8月29日より始まり、提出議案（条例案、補正予算、決算）の説明が行われます。その他、決算に関する監査委員の報告が行われます。ただし、日程的には、22日にその第3定例会の告示があり、議案が配布（電子データ、あるいは一部紙）されます。それを読み込み、議案に直接関しない市政の事項に関して、24日には一般質問の項目を提出し、その日に職員からのヒアリングを受けます。その質問自体は5日間の日程（9月1日から9月7日）でくじ順により質問するので、国と違いに、町田市の役人の人々は議会答弁の準備期間が十分にあります。その後、9月8日の本会議で提出議案の質疑を行います。

11日からは、各常任委員会に分かれ、議案の審査を行いますが、その委員会で同時に住民請願に関する審査を行います。また、第3定例会の委員会審査では、決算についてのその賛否を図り、決算に関する議員意見をつける日程も組むために、審議日数が長くかかります。その結果を委員長が、29日の本会議でその要旨を報告し、全体で全議案について採決を行います。



職員から質問項目のヒアリングを受ける

## シゲリカツヒコ展鑑賞(文学館)

「町田市民文学館ことばらんど」で開催中（9月24日まで）の「はっ！シゲリカツヒコ展」（展の文字が丸囲いになっている）を鑑賞しました。

作者のシゲリカツヒコ氏は、絵本作家・イラストレーターの肩書を持った人物です。デビュー作である「カミナリこぞうがやってきた」が、2010年の第3回MOE絵本屋さん大賞新人賞第2位受賞となっています。その他の作品では、「大名列」が2018年小学館児童出版文化賞を受け、「なわとびょーん」、「だれのパンツ？」、「かぜがつよいひ」と続いてなどのユーモラスな作品を発表しています。



愉快な被り物も配置されていました

今回の展覧会では、それらの作品から特徴的な構図の絵柄を拡大したパネルをポイント配置して、来場者を引き付けています。あるいは作品の登場人物になるコーナーを随所に配置し、幼稚園児や小学生が楽しく過ごせる遊びを入れ込んだ、「ことばらんど」らしい企画設定となっていました。

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田市内企業が開発した「水耕栽培メロンの世界一決定戦」を開催しよう！

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしました

**若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(4期連続トップ当選)**

# 吉田つとむ

## 消費生活センターの役割(クーリングオフ)

消費生活展:まちだのくらしフェア2023を見学し、いくつかのイベントに参加しました。以前に、この消費生活センター運営協議会にボランティアで参加している時期もありました。そのため、この消費生活センターが行っている行政事業と運営協議会のボランティア活動の相違点も承知していましたが、20年ほどの過去のことと、直近の情報は改めて情報収集することにしました。(下段に見学日の写真を掲載)

消費生活センターの機能で最も重要なものは、消費者相談です。消費者が購入するもので不当・違法な販売、商品の欠陥や瑕疵に関して、相談に乗ってもらうものです。これまでの課題で有名なものは、いわゆる統一教会による靈感商法、最近ではビックモーターによるユーザーの自動車修理に関して故意に車に傷をつけ、高額な保険金を得る商法が問題になっていますが、それぞれ刑事案件に及ばない段階から消費者相談窓口で問題提起がされていたものであり、その啓発のための情報発信が重要な役割を果たしてきました。他方で、通販の中でもその販売方法で、紛らわしい手法があるようです。説明を受けたものは、お試し料金と紹介があるのに、実際には後の通常料金とのセットで契約が行われ、クーリングオフには該当しないものがあるとのことでした。



ブログ

個人HP  
メールは  
左記を読み  
込んで送信



好評インターンシップは、  
夏季の第52期生を募集中

## 福島市こむこむ館は子どもの夢の集まり

無所属会派の視察で、福島市のこむこむ館を訪れました。東北新幹線と在来線も停まる福島駅舎のすぐそばに建設され、市内全域から来訪者が行きやすい場所にあるのが特徴です。

町田市では、市内に5館の子どもセンターを配置していますが、福島市でそれに相当するのは市内5カ所の児童センターとして設置されています。このこむこむ館は、それとは別に、地上4階、地下1階建、延床面積9,886 m<sup>2</sup>の大型施設で、NHK福島放送会館と隣接、一部直通部分を設け、一体利用が可能になっています。さらに、幼児から青少年まで幅広い年齢層を対象にしており、子ども科学館タイプの学習施設として、プラネタリウム、小型の天文台や展示体験施設、子どもライブラリー(2万冊)などを有しています。



スポーツ施設では、室内用の本格的なボルダリングウォールも備えており、また、食べ物を持ち込んで食べれる交流スペースを設置していて、終日でも子どもさんが遊べる拠点になっています。子どもに選ばれる都市を目指すなら、町田市にも必要な施設でしょう。

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2023年3月末までに104名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。